

# 北海之光

1月号 北海道教区報

どのような道を歩むときにも主を知れ  
主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる  
箴言3章6節

発行所 北海の光社  
001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12  
日本聖公会北海道教区事務所  
電話 011-717-8181  
FAX 011-736-8377  
E-mail:hikari@nssk-hokkaido.jp  
http://www.nssk-hokkaido.jp  
発行人 笹森田鶴



## 宣教開始一五〇年を迎えて

北海道教区 主教

マリヤ・グレイス 笹森田鶴

皆さまに主のご顕現のお喜びを申し上げます。

今年には北海道教区宣教開始一五〇年の年です。喜びと感謝を分かち合います。

けれども世界では戦争によって日々大切な命が奪われ、温暖化による気候変動のために地球も悲鳴をあげています。

また年始に起こった能登半島地震により多くの方々が犠牲となり、甚大な被害を受けて数えきれない方々が今も不安

の中で過ごしています。心からお見舞い申し上げますと

もに、痛みと混乱と絶望が渦巻くところには必ずキリストがいやしのみ手を延べてくださることを信じ、主の働きに連帯したいと願います。

わたしたちの神は、人を安心と平和の状態へと歩ませたいと切望し、人間の痛みや悲しみをご自分のものとし、愛するがゆえにともに苦しんでくださるお方です。神のお働

きには自己防衛も自己保全もありません。この神のしもべとして、わたしたちは北の大地で集められ、信仰生活を送っています。その始まりは一八七四年五月一六日、英国聖公会宣教協会(通称CMS)の宣教師ウォルター・デニング司祭の函館上陸の日です。そこからキリストの弟子たちの膨大な時の積み重ねにより、一五〇年という歴史が刻まれてきました。

またわたしたちは、北海道という固有な歴史を持つ土地に住んでいます。すでにこの地に住んでいらしたアイヌの方々、またさまざまな理由でこの北の大地に海を渡ってやっ

て来た方々、海外からの方も含めこの大地には多様な背景を持つ人びとがいます。宣教一五〇年にあたり、時と場が重なっているわたしたちが神のしもべとして歩んでいくために、わたしたちは

ご一緒に歴史を振り返ることから始めます。そして苦しみや困難が刻まれているこの大地、この世界で、しかも教会自体が教勢の低下を避けられないこの時代に、神の望まれる安心と平和の構築のため、わたしたちがこの北の大地で果たすべき使命について、励まし合いながらともに考える年にしたいと願っております。

## 第二世紀宣教 二〇二四年

どのような道を歩むときにも主を知れ

主はあなたの道筋をまっすぐにしてください

箴言三章六節

日本聖公会北海道教区

北海の光773号

司祭 サムエル 吉野暁生 書

―心の窓をひらく―

# 福音と私(二七六)

―今、なぜ、私はキリスト者として生きるのか―

札幌聖マーガレット教会信徒

マーガレット 小島 治子



## 【私の好きな聖句】

目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。

(詩編一二二)

ジャイス研修で藤井師に「目を上げる」を幾つも学ぶも忘れて迷走、神様と皆様にガシッと支えられる。時空を超え紡がれる福音は奇跡だ。

祖父バルナバ二瓶直治は北大故か日本基督教団札幌教会受洗。任地留萌に教団なく隣家のお導きで母ルツ育子、叔母、祖母リベカ清美は聖公会で受洗。祖父は運動・マンドリンを好む愉快な人情家。熱心に教会と聖書に親しむ。聖マーガレット教会の礎「南の伝道所」を木村兄宅から引継ぎ祖父の書齋でオルガンで礼拝が守られた事実は光栄である。

父ヨハネ賢治は北大低温科学研究所の雪博士。米国オハイオ州立大在任中家族で大学の聖公会へ。渡辺師の数年越しのお勧めに六三で大友師に洗礼、渡辺師に按手戴く。渡辺師に従いご復活を尊重、大友師、大町師始め先生方を尊敬、病院・ホームのお見舞に深く感謝。家族の教会生活を支える。念願の教会葬を雪水の方々と共にできず無念。

母は祖父似の優しくお茶目な働き者。軍国教育や祖母の管理と主体的な人間らしさの狭間で短歌は魂を解放、自分と人々、動植物と自然、社会の愛しさ、哀しみ、痛み、戦争の悲惨を率直に詠う。宮城県女子専門学校時代、焼跡の尚綱、東北学院等で仙台ボラントリーアクワイア、東京で戦後初メサイアに参加。

「思ひ出のメサイアの曲流れをり若き日恋し涙流るる」家庭科は人間教育との信念で高校・短大・保専で教える。「聖職となりて説教をなす日日の彼を偲べば心清しき」朝の階段教室で伏し祈り、後に神父となった生徒の記憶。米国人に倣い「素敵なお説教ありがとうございます」と司祭様を戸惑わせる。教会委員、婦人会、聖歌隊ご奉仕の交わりが喜び。七九で心臓手術。

「半年ぶりの早朝ミサに心満ち酸素ポンペを曳きつつ戻る」

「聖歌隊の友らの声を心から聴きつつ嬉し声出ぬ我は」

「欠席の多き今年の体調を心にかける友ら有難し」

九三の最期迄手を振り拍み拍手し医療スタッフと家族を癒す。挨拶・感謝・賛美が母の信仰の結晶か。会いたい。

私も弟も幼児洗礼、私は渡辺師、弟は遠藤師ご指導で中学で按手。SS・クロス会・グロリア会で育ち、土曜は司祭様と皆で週報折り、聖器磨

き、食事当番。心躍る教区中高生有珠・新冠キャンプ、善きサマリヤ人奉仕。弟は遠藤師帯広時代、帯広の大学でエゾシカ研究やマンドリン合奏に打ち込みつつ、教会ではサーバーやSSや青年会などの役割を通して良き交わりを得たようだ。後に良き家庭人・職業人として誠実に創造的に歩み、両親の生と死と信仰の意味、人の縁をじっくり前向きに思索する姿勢は私を喪失と後悔から救う。

札幌音楽研修：歓喜の即席演奏会。「空気の様なオルガン奏楽」目標。卒論はT・S・エリオット宗教詩「四つの四重奏」。Loveが神。信仰の平安に至る茨の道を拙くも考察。

新卒で今金中学校産休代替教諭。憧れのインマヌエル教会は農繁期、渡辺師の岡村師就任礼拝へ。道道はインマヌエル通り。神丘は校区。「あなたもクリスチャンかい」と先生方は笑顔。翠春北星学園女子中学高等学校へ。三愛畜産センターでリトリート。聖研で罪と赦しの親子の例えに

強烈な懺悔と感謝の涙溢れ一年生目を丸くする。漁火望む牧場で神様と生徒の対話を共に。英語教員四四年、YWCA顧問。「礼拝は一人で一緒に」と自立&共生を教える。植松主教様の靴屋のマルチン。イエス様がおられる！心身の疲労が融ける。笹森主教様のからし種。蒔き続け広がる灌木。YWCAに先生方も「知った責任」、「継続は力」、「出会いを怖れないで」と奨励。「平和と学習保障」「生徒と共に居る」「北星精神の継承」を願われた先生方を偲ぶ。

関田寛雄師聖句「身体を運び隔ての中垣を壊し和解」は奉仕の基本。聖職、信者の皆様は勿論、未信者の多くの方々、奉仕させて戴く方々も信仰の師である。原爆、戦争、被災、被差別の地、北星とご縁の水保：壮絶な苦難、分断、哀しみを生き抜く方々の信念とユーモアと温もりに、魂が砕かれ他者に働きかける生徒と自分の変容も奇跡である。怖れず目を上げて天上地上の皆様と歩み続けたい。

「出会いを怖れないで」と奨励。「平和と学習保障」「生徒と共に居る」「北星精神の継承」を願われた先生方を偲ぶ。

関田寛雄師聖句「身体を運び隔ての中垣を壊し和解」は奉仕の基本。聖職、信者の皆様は勿論、未信者の多くの方々、奉仕させて戴く方々も信仰の師である。原爆、戦争、被災、被差別の地、北星とご縁の水保：壮絶な苦難、分断、哀しみを生き抜く方々の信念とユーモアと温もりに、魂が砕かれ他者に働きかける生徒と自分の変容も奇跡である。怖れず目を上げて天上地上の皆様と歩み続けたい。

「出会いを怖れないで」と奨励。「平和と学習保障」「生徒と共に居る」「北星精神の継承」を願われた先生方を偲ぶ。

### 常置委員会報告 第二回 二月一四日

#### 《協議事項》

一、教区会を受けての検討事項について

・教区宣教協議会を二〇二四

年度に二回程度実施する方向で検討したい。

・教区財政についての中長期的展望について、北海道教区宣教協議会で取り上げていくこととする。

・各教会のホームページの現

況について調査すると共に支援する方向をIT委員会を中心に検討していくこととした。  
・各教会のインターネット環境の整備についてIT委員会を中心に検討することとした。

・宣教一五〇年、チーム北国などについての広報を強化するための作業チームを作って対応することとした。  
二、北海道教区宣教協議会開催について  
・今回の日本聖公会宣教協議会参加者・宣教活動推進部宣教ミーティンググループの合同会議を通して計画していくこととした。

札幌キリスト教会  
パウロ 鄭ほくしん 北辰  
(二〇二三年二月二四日)

堅信式受領  
おめでとう



## 主教室から

一月一日朝、東京教区退職司祭マリア山野繁子師が、八一年のこの世でのご生涯を終えて神様のみ許に召されました。言葉にならないどうしようもない淋しさと、同時代を同伴してくださったことへの深い感謝の念で心が一杯になり、日を追うごとにその存在の大きさを感じています。お会いしたことのない方にとっても、昨年の教区聖歌四八七番「重荷背負う人に」の作詞で馴染みがあることでしょう。

一月一日朝、東京教区退職司祭マリア山野繁子師が、八一年のこの世でのご生涯を終えて神様のみ許に召されました。言葉にならないどうしようもない淋しさと、同時代を同伴してくださったことへの深い感謝の念で心が一杯になり、日を追うごとにその存在の大きさを感じています。お会いしたことのない方にとっても、昨年の教区聖歌四八七番「重荷背負う人に」の作詞で馴染みがあることでしょう。

一月六日顕現日とともに竹田眞主教より東京教区で初めての女性としての司祭按手に与りました。その後の牧会生活においても、山野繁子司祭が常に同じ教区にいてくださったことは、わたしにとって大きな支えであり、励ましであり、学びでもありました。一人では到底乗り越えられなかった道程に尊敬する同伴者が与えられていたことは、神様からの大きな贈り物以外何ものでもありませんでした。

一月六日顕現日とともに竹田眞主教より東京教区で初めての女性としての司祭按手に与りました。その後の牧会生活においても、山野繁子司祭が常に同じ教区にいてくださったことは、わたしにとって大きな支えであり、励ましであり、学びでもありました。一人では到底乗り越えられなかった道程に尊敬する同伴者が与えられていたことは、神様からの大きな贈り物以外何ものでもありませんでした。

二月七日(水) 午前一〇時三〇分 於 主教座聖堂  
次の方々を覚えて祈ります。  
執事 桑山 隆  
司祭 小貫 雅夫  
二〇二三年二月二日  
司祭 ハリー・W・ハンセン  
一九九六年二月八日  
執事 細矢 勝司  
二〇一九年二月九日  
司祭 長澤 義正  
一九六一年二月二日  
伝道医師 ウイリアム・ウリス  
ロイ・コルバン  
一九一五年二月二〇日  
司祭 向井 山雄  
一九六一年二月二四日  
伝道師 田村 均  
一九七八年二月二六日

## 十 教区逝去教役者 記念聖餐式

山野繁子司祭とわたしは三五年程前からお交わりです。すでに日本聖公会の

にも受験し、二五年前の一

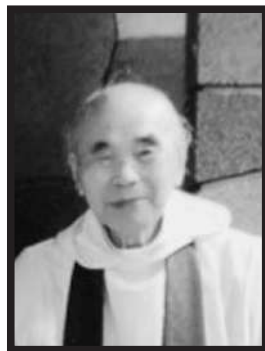
義 マリア・クレス 笹森 田鶴

・協議した。

一九七八年二月二六日



## 司祭パウロ 寺本睦夫 師追悼



帯広聖公会牧師  
有珠聖公会管理牧師

司祭 ペテロ 大町 信也

私が昨年四月に帯広聖公会に赴任して参りましてから八月まで、寺本司祭様は、とても元氣なご様子で毎日曜日の礼拝にお連れ合いの敦子さんと共に出席なさっておられました。会衆席の後方二列目あたりから響く寺本先生の声は、会衆の歌声の中からはつきりと聞き分ける事ができるほど、力強いものでした。そんな寺本司祭様でしたが、室内での骨折を機に入院なさってから次第に体力を落とされ、敦子さんが見守られる中、昨年十一月一九日の夜静かに

天に召されました。

手元に一冊の冊子がございます。「日ごとの歩み」という小冊子は、日本聖公会出版事業、この部から一九七六年に出版された黙想の手引きです。寺本司祭様がこの年の三月の黙想講話を執筆しておられます。この寺本司祭による黙想の手引きを通読してみますと、理屈っぽく神学が語られるのでもなく、また声高に社会批評がなされるのでもなく、日常の小さな出来事から説き起こして、神様のお働き・救いのご計画について思いを向けるようにと一貫して語られています。「神の救いのご計画は小さき一人の罪人に宿る」(同掲)という事を日常の出来事を背景にお語りになっていきます。しかし、一方でその事を伝える事は、決して容易ではないという事を寺本司祭は知っておられたのではないのでしょうか。

私には、寺本司祭との初めての出会いが今も鮮明に思い出されます。一九七六年、苦小牧で行われた善きサマリヤ人奉仕活動の最中、バスの車中、一人の中年の男性が、バスの最前列に立ち、まるでバスガイドさんのように、ゲームや次々と繰り出す面白い話で、車中は大爆笑の渦。そして、奉仕のために訪れた施設では、その男性が人形を取り出して腹話術を披露するのでした。その中年の男性こそが、寺本司祭でした。私は、驚きの内に司祭のイメージを大きく広げられました。

かき福音的ユーモアが表わされていたように思います。福音が一人ひとりの日常の中に届くようにとなされる最大限のサービス、即ちディアコニア(奉仕)の背景には、目に見えない、たくさんの工夫や反省と努力がなされてきた事を思わざるを得ませんでした。それは、神様からの祝福を届けることへの奉仕そのものでした。

私は深い感銘を覚えます。寺本司祭様は、逝去の前日に敦子さんに病床からのビデオサイン・ヴィサインを写メで送っておられます。このサインは、主にある平安と主にある勝利をそと敦子さんに告げ知らせる、先生最後のユーモアであったのではないかと思います。(通夜の祈りの教話より)

## 寺本司祭様

## 安らかに憩わんことを

帯広聖公会信徒

ダニエル 尾関 敏明

記録によりますと、故パウロ寺本睦夫司祭は一九六三年五月に司祭に叙任され、美唄聖アンデレ教会、苦小牧聖ルカ教会など主に道央・道東の六教会を牧会されました。私は寺本司祭が苦小牧にて司牧されている頃からお目にかかることになりました。大学卒業後、横浜の会社に就職したため、日常のお付き合いは少なくなりましたが、私の妻が寺本敦子夫人の妹であったのでお互いの状況は大体存じておりました。私が退職後

二〇〇六年に帯広市に転居した時には、既に寺本司祭も定年を過ぎておられました。しかし、当時も聖職者が少なく、帯広聖公会の嘱託司祭として、牧会と帯広聖公会幼稚園のチャプレンというお立場でお勤めくださいました。最初は銀行員として社会生活をスタートした寺本先生は、教会に通う様になり、当時牧師であった木末登司祭から「聖公会神学院へ行きなさい」と言われ、二つ返事で「はい」と答え、迷うことなく牧師への道を歩き始めたのでした。一九六〇年、聖公会神学院を卒業し翌年結婚されました。高血圧という持病を持ちながら、現役の牧会生活四〇年の間で一日も病気でお休みすることもなかったと聞きました。嘱託となつてからは毎朝、敦子さん、愛犬のジョンとともに散歩を楽しみ雄大な日高山脈や広大な十勝の農場を眺め、バードウォッチングをしておられた事が健康の秘訣だったのでしょう。神学院の同期のお仲間の集まり「タコ八の会」は最も楽しみにし

ておられました。それぞれの居住地を順番に集合場所として、楽しい時間を持ち、日頃の労苦を分かち合い、新しい活力を頂いておられたことでしょう。そのお仲間の幾人かは既に主のみ許に召されています。つい先日旅立った寺本先生も今頃は、主のもとでいつもの笑顔を一層ほころばせて、「よく来たな」と再会を喜んでおられるに違いありません。寺本司祭は絵もお得意でした。特に年賀状は家族の特徴を一つの絵にして葉書に描きました。私も毎年どんな絵を送ってくれるのか楽しみではなないでしょうか。また、ハーモニカも得意でした。寺本先生は本格的に演奏されました。教会のクリスマス祝会の時だけでなく、ボランティア活動(お年寄りの施設や子どもの施設に行き絵本の読み聞かせをする)などの時には、きつと時々演奏されたのではないかと思います。趣味の音楽は、その域を超えていると感じていました。クラシック音楽が好きで、札幌に有名な指

揮者や演奏家が来るとよく出かけていました。ラジオでクラシックの名曲演奏があると、それをテープに録音し保存する事が趣味でした。千本以上あるというテープがきちんと整理されており、演奏家の名前や曲名などによって数分以内に探し出せると自慢していました。しかし、次第に録音テープは使われなくなり残念がたつておられました。更に、「山なみ合唱団」という十勝の伝統ある合唱団のメンバーでもありました。そのせいか、老いてからもしっかりと発声で感心していました。親戚ということもあり、一年に一度は集まって温泉を楽しみ、状況を確認しあっていました。よく仕事をし、信徒や家族を大切にされた寺本先生。仕事も遊びも「やり切った」と言いながら「今のうちに遊びなさい」とも言っておられました。九四歳にならんとするまで主日には礼拝堂のいつもの席に座っておられ私たちに安心を与えてくださいました。これからも、天国から私たちの歩みを見守ってください。

### 司祭 パウロ 寺本 陸夫 師 略歴

- 一九二九年二月一日 室蘭にて出生
- 父 菊次郎、母 千代
- 六男四女の一〇番目
- 幼少期に帯広へ転居
- 木末司祭の勧めにより、聖職を志し、立教大学を経て神学校へ
- 一九六〇年 聖公会神学院卒業
- 一九六一年 結婚、二男一女に恵まれる
- 一九六一年 執事 按手
- 一九六三年 司祭 按手
- 二〇二三年一月十九日 逝去

### 牧会歴任地

- 美唄聖アンデレ教会
- 苫小牧聖ルカ教会
- 岩見沢聖十字教会(美唄聖アンデレ教会 管理)
- 平取聖公会(新冠聖フランシス教会管理)
- 札幌聖マーガレット教会
- 帯広聖公会

### 信仰歴

- 一九五一年二月二三日 帯広聖公会にて受洗
- 推薦 司祭 木末登 師
- 一九五二年 六月一日 帯広聖公会にて受按
- 按手 主教 上田一良 師父





▲北見聖ヤコブ教会 祝福に満ちて



▲岩見沢聖十字教会  
12月17日笹森田鶴主教とクリスマス礼拝



▲函館聖ヨハネ教会



▲釧路聖パウロ教会



▲厚岸聖オーガスチン教会(伝道所)



▲今金インマヌエル教会  
写りそびれた者が3名…残念!



▲札幌キリスト教会 12月24日キャンドルサービス、  
ページェント出演者たち



▲深川聖三一教会  
笑顔の10人クリスマス・ハレルヤ



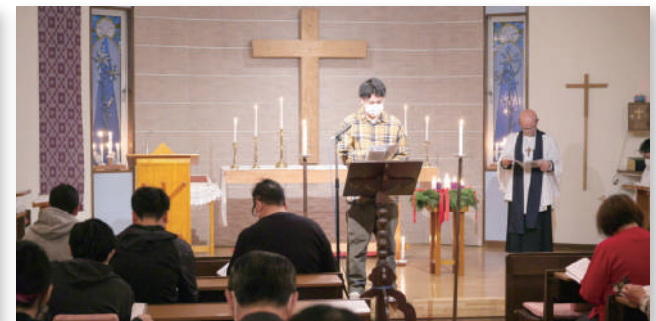
▲札幌聖ミカエル教会  
賛美とキャンドルライトで祝ライブ



▲新冠聖フランシス教会 久しぶりの愛餐会は新冠名物のあたたかいミルクで乾杯でした!



▲新札幌聖ニコラス教会 12月24日クリスマス総員礼拝



▲聖マーガレット教会  
クリスマス・イブキャンドル礼拝





▲帯広聖公会 キャンドルサービス



写真で見る 2023

クリスマス光景

北海道教区  
23教会



▲小樽聖公会



▲苫小牧聖ルカ教会



▲網走聖ペテロ教会  
幻想的な灯りのもとで



▲旭川聖マルコ教会



▲紋別聖マリヤ教会



▲有珠聖公会

有珠クリスマスコンサート iZANAIの皆さんを迎えて



▲留萌キリスト教会



▲室蘭聖マタイ教会



▲平取聖公会 クリスマス礼拝



▲稚内聖公会 (伝道所)

# 宣教一五〇年実行委員会報告 X

司祭 サムエル 吉野 暁生

みなさんこんにちは。宣教一五〇年実行委員会です。

いよいよ二〇二四年、宣教一五〇年の年が始まりました。今回は、現在定まっています「宣教一五〇年」行事予定と概要についてのお話をしたいと思います。

また、『北海道の光』と同時に「行事予定表」をお配りする予定です。そこらもぜひ参考にしてくださいね。

先月もお話しした通り「宣教一五〇年」は「二〇二四年七月の「記念礼拝」だけで終わるものではなく、今年からスタートし、二〇二四年以降も続く宣教的な活動です。今はまだ概要しか固まっていな

ものも多いのですが、随時お知らせしていく予定です。まず、もうスタートしているプログラムは三つあります。

一つは「記念聖歌」です。現在、歌詞がほぼ完成し、作曲家の方に依頼して作曲作業に入っています。今年の三月一日のイースターまでに皆さんのところに楽譜などを届けたい予定です。この記念聖歌は、宣教一五〇年記念礼拝で歌われます。

続いて「一五〇年記念グッズ」の販売を開始しています。現在は「缶バッジ」「ボールペン」「エコバッグ」の三点が完成しています。教区事務所を通して販売いたします。是非お求めください。

さて、次はこれからスタートするプロジェクトのご紹介です。まずは「黙想会」です。二月二三日(金)に小樽聖公会で第一回を行い、四月二十九日(月)に釧路聖パウロ教会、六月に道南分教区、八月に道北分教区、一〇月にオホーツクでの開催を予定しています。遠方からの参加者には交通費の補助をいたします。近々第一回、第二回の申し込みを開始します。

そして七月二十五日(月)は「宣教一五〇年記念礼拝」です。説教者に西原廉太主教(中部教区)をお招きしています。また、その日程をはさむ形で、「英国聖公会宣教師ジョン・バチラーの足あと」のパネル展を二風谷アイヌ博物館との共催で行います。場所はどちらも札幌キリスト教会です。



## 第四回 東北教区

アイリーン 坂水 かよ

「チーム北国」の活動では、三月の本格始動から一二月まで一〇回のミーティングが持たれました。一月開催の両教区の「教区会」には、二つの議案を提出、一つは「チーム北国の拡大・期間延長・名称変更の件」もう一つは「東北教区・北海道教区宣教協働・教区再編に向けてのミッシェンステートメントを採択する件」です。審議の結果、両教区とも二つの議案が承認され、これにより両教区は同じ目的に向かって、さらに歩みを進めていくことになりました。

今回の教区会では両教区内の教会・信徒代議員の方々の出合いの場として、オンラインで繋ぐ「北国セッション《おぼんです》」が企画されました。各教会代議員の紹介コメント(持ち時間三〇秒)にかける意気込みに、終始会場は笑いに包まれていました。今後の活動については、一月にコアメンバーと四セクションメンバーとの全体ミーティング(オンライン会議)を行い、目的等を理解・共有した上でそれぞれの活動がスタートする予定です。

この間の協働に関わる動きとして、東北教区「拡大展望会議」(一〇月八・九日)に北海道教区から大友宣さんが参加。新年一月執行機関合同会議へも北海道教区から吉野暁生司祭が参加の予定です。一二月二日東北教区「奉仕のススメ」懇談会(オンライン研修会)でも北海道教区の三浦千晴執事、木村夕子司祭、阿部恵子司祭のお話をお聴きするなど、交流も活発になってきました。宣教協働の場がワクワクする「楽しい出合いと交流の場」として広がり深まっています。



2023年  
日本聖公会宣教協議会  
ぶどうの枝だより 11  
最終号

一月一日(金)〜三日(月)までの日程で、清泉寮にて、二〇二三年日本聖公会宣教協議会が開催されました。各教区から、また管区諸委員会から信徒と聖職一三二名が集まり、「いのち、尊厳限りないもの」となりびととなるために「」をテーマとしてプログラムを持ちました。「実り持ち寄りブースの紹介」。このプログラムでは、前回の宣教協議会から現在までの各教区や管区諸委員会の働きにおいてどのような実りがあったのか、また現在の課題は何かをブースの展示を通して分かち合いました。

「私たちのあゆみ」物語を聴く。三つの教会の信徒の皆さんのお話を聴きました。三つの教会は信徒数の少ない教会ですが、それぞれの教会で豊かな信仰生活が営まれていることが分かち合われました。

「いのちの現場から聴く」。五人の語り手の皆さんから、「となりびと」と出会い(あるいは当事者として仲間とともに歩み始め)、今も一緒に歩み続けている物語をお聴きしました。

「主教会からのメッセージ」。「宣教協働区アワー」。武藤謙一首座主教から、宣教協働区・伝道教区制導入の経緯についてお話がありました。また他の主教からは、「この世界の中で『となりびと』となるために大切にしたいこと」、「この世界における宣教・牧会に大切にしたいこと」、「宣教協働・教区再編において大切にしたいこと」というテーマでお話がありました。その後、各宣教協働区グループに分かれて交わりの時を過ごしました。

二回にわたる「グループシェアリング」では、小グループに分かれ、前半は、それまでのプログラムの感想を述べ合い、後半は、最終日の「宣教協議会からの呼びかけ」作成に向け、「私たちが、神様の招きに対して応答できなかったことは何か」「私たちが



は、招きにどう応えていくか」が話し合われました。

最終日



に、ドラフトコミットイメンバーによる「呼びかけ」案をもとに意見交換が行われましたが、時間内では収まらず、その場で最終的な私たちにとめることは難しいとの結論となりました。「呼びかけ」はドラフトコミットイメンバーが改めて案を作り、参加者の合意のもとに正式なものとして出される予定です。

宣教協議会の録画映像は、「日本聖公会宣教協議会ブログ」から現在でも視聴可能です。ぜひご覧ください。

(文責：司祭 北澤 洋)



松丘聖ミカエル教会は、東北新幹線新青森駅から約二キロ、車で六分ほどの国立療養所松丘保養園内にあります。青森聖アンデレ教会とは車で約二〇分の距離です。一九一二年に青森の宅間六郎執事が患者を慰問、説教したのが伝道の始まりで一一年になります。入所者の堅信受領者は多い年で六〇名以上でしたが、現在は一〇五歳と九一歳のお二人のみになりました。一月、札幌キリスト教会から移動してこられた方が加えられました。コロナで入構禁止でしたが、最近ようやく解除されました。



歴史の窓2024(4)  
デニング長老による  
伊藤一隆洗礼の記録

一八七四年五月一六日、デニング長老が北海道に派遣され長崎経由で函館に上陸します。長老は、着任早々から函館周辺、日高、札幌と伝道の範囲を広げ、とくに日高のアイヌ伝道の端緒を開きます。また、札幌では札幌農学校の生徒伊藤一隆の洗礼を行います。この受洗日には前回のバチエラー青年の来函日と同様に複数の日付があります。「九〇年史」では明治九(一八七六)年七月二一日とありますが「北海道聖公会史」においては明治九年七月三一日となっています。鈴江英一氏は「札幌キリスト教史」において太田一雄の考証に従って「一八七六(明治九)年八月二日のことである」といわれていると述べています。「北海道キリスト教史」にも同様の経緯が詳述されています。

歴史の役割はこうした記録を集めて保存提供することにあり、検証するのは皆さんです。

(AT)



▽旭川聖マルコ教会

一二月に入り急な積雪に見舞われ、除雪に悪戦苦闘しています。(まだまだ大変な地域もありますが)今年のクリスマス関連の礼拝等は二三日のこどもクリスマス会礼拝、その後野村さんの手品、プラ板で小物作りと楽しい時間を過ごしました。二四日はクリスマス総員礼拝、記念写真撮影後久しぶりの食事を伴う祝会と、いよいよコロナ後の日常に戻りつつあるなあと感じました。

頌栄保育園では九日に、クリスマス礼拝と祝会を行いました。みんな笑顔いっぱいでした。また、二二日にはサプライズで教育大の学生によるブラスバンドによる演奏

と楽しい贈り物を頂きました。

新しく迎える年は、世界中が平和であり、子ども達・小さき者にとって安心し日々を送れるようにお祈りします。

▽岩見沢聖十字架教会

一二月に入り幼稚園ではクリスマス行事が行われました。年長による聖誕劇、他の学年は歌や劇。子ども達の成長を先生、保護者が感じました。

一七日、笹森田鶴主教司式によるクリスマス礼拝。昨年が続いてのご奉仕でした。礼拝後、主様から世界の聖公会の幅の広さと豊かさを教えて頂きました。岩見沢の信徒の信仰背景は様々ですが、みんな聖公会が大好きです。

二二日、午前一時までの二四時間で七三センチの統計開始以来一番の大雪。全国ニュースになりました。

▽釧路聖パウロ教会

厚岸聖オーガスチン教会 (伝道所)

師走。日本人にとっては忙しい月。クリスマスチャンとって

も忙しい月です。

六日、吉野司祭は宗教教誨のため釧路刑務所へ。翌七日及び八日の二日間は、頌栄保育園のクリスマスおゆうぎ会が、「インフル流行の影響で大変でしたが、非常に盛り上がりました」と前田園長。

二三日(土)には厚岸聖オーガスチン教会伝道所でひと足早いクリスマス礼拝(一人も参加)。明けて二四日は恒例のクリスマス総員礼拝(参加者は何と三五人も)。午後四時からのイブ礼拝には二十七名が出席、吉野智生さんと鳴海範子さんのチェロ&ピアノミニコンサートもあり印象深いイブになりました。二五日は勿論降誕礼拝。まさにメリークリスマスウィークでした。

日本海側の豪雪には胸が痛みますが、教会委員選挙で新しい役員も決まり、新年に向けて気分一新。主よ、来年は殊に世界にみ恵みと平安を!

▽室蘭聖マタイ教会

日一日、寒さも厳しくなります。皆様いかがお過ごしでしょうか。

過日はクリスマス準備に信

徒有志が集まり、クリスマスツリーの飾りつけや礼拝堂の清掃など、汗を流しました。

一二月二三日、松井司祭が来会し、クリスマスの佳き日、聖餐を受けました。

過日、台所の水道の凍結があり、信徒で何とかしようと試みましたが、業者を頼むことに致しました。

▽小樽聖公会

一二月三日(日)降臨節第一主日。教会委員会後、「空き家」所有者の代理人と初めて会合を持つ。代理人は日本語を話せないため、スマートフォンを用いての中国語通訳者を介しての話し合い。教会としては所有者へ安全・安心の担保を求め、ことに強風・雪害対策を強く求める。

二四日(日)降臨節第四主日。この日、先取りして主のご降誕を祝う。聖餐式後、記念の写真撮影。その後、四年ぶり、ささやかな祝会(お菓子とお茶)をひらく。笑顔あふれるクリスマスとあいなる。

▽帯広聖公会

今年は雪が少ない一二月で

した。九日、とちちプラザで幼稚園のクリスマス祝会。一〇日、笹森主教に巡回いただき、礼拝後に宣教協議会の議事内容について説明いただく機会を得ました。二四日、降誕日総員礼拝に引き続き、幼稚園ホールで祝会を開きました。四年ぶりに対面で食事と音楽を楽しみました。同日一七時よりキヤンドルサービ

▽稚内聖公会伝道所

一二月は喜びの月、主イエスのご降誕を祝う特別な時なのですが、自然の猛威に阻まれ、予定の日程が悪天候で、礼拝を行うことができませんでした。信者さんとは電話口で「よいクリスマス、新年を」と言葉を掛け合い、神様のみ守りを祈りました。これも厳しい環境下にある教区の一つの現実です。幸いなことに、こういうこともあるかと、クリスマスバージョンの



写真を一月に撮っておりま  
した。来年はささやかでも祝  
福あふれるクリスマスと共に  
できることを祈りつつ。

▽札幌キリスト教会

一月二日、清田倫久さ  
ん・西山明日夏さんの聖婚式  
が植松誠主教の司式で行われ  
喜びに包まれる。八日、藤井  
八郎司祭の逝去者記念聖餐式  
が笹森主教司式、大友司祭説  
教にて行われる。一九日の婦  
人会例会より誰でも参加歓迎  
な聖書の学びが開始。二二  
日・二三日には教区会が開催  
され、会場教会として協力。

一月、今年も教会アトリ  
ウムに大きなツリーを飾り、  
子どもたちがアドヴェント・  
克蘭ツを作り降臨節を迎え  
る。六日婦人会は今年最後の  
お仕事会で台所の大掃除。九  
日ヒルダ鏡谷葉子さんご逝  
去、霊の平安を祈る。一六日  
オールタ会で聖器・聖具を磨  
き、降臨日の準備を整える。  
二四日は主教巡回日で鄭北辰  
さんが洗礼・堅信のお恵みに  
与る。午後四時からのイブ礼  
拝では、子どもたちによる聖  
劇があり多くの方が来てくだ

さる。二五日は降臨日聖餐式。  
礼拝後祝会。新しい年もお恵  
み深い年になりますように。

▽聖マリアレット教会

一月三〇日マリア川口友  
美姉、二月一七日エミマ寺  
島文字姉を主の御もとにお送  
りする。お二人とも美唄で信  
仰生活に入られたとのこと。  
クリスマス準備の進む降臨  
節第三主日の礼拝に北星学園  
女子中学高等学校の聖歌隊が  
来教し、奉唱してください。

礼拝後にもミニコンサートを  
開催してください。多数の保  
護者の方々とともに楽しむ。  
あつという間に迎えたクリ  
スマスでしたが、夕方四時か  
らのイブキャンドル礼拝、翌  
日の降臨日礼拝も祝福のうち  
に終了。阿部恵子司祭、横山  
明光司祭のご奉仕に感謝。

▽新札幌聖ニコラス教会  
降臨節第三主日から降臨日  
まですべて阿部芳克司祭のご  
奉仕でした。二四日の主日礼  
拝後はマリア会による食事が  
提供され、午後四時のイブ礼  
拝は「世界の子どもたちのた  
めに」をテーマにキャンドル・  
サービスを企画。阿部司祭ご

夫妻を中心に準備チーム五名  
でクリスマスカードとちらし  
を作成、プレゼントの手作り  
クッキーも準備。久しぶりに  
地域にカードやちらし配りも  
して準備万端。一組でしたが  
地域の方の参加も得て静かな  
聖夜を過ごしました。集会室  
のストーブ、厨房のガス湯沸  
し器の設置も無事終えて新し  
い年を迎えます。主に感謝。

▽札幌聖ミカエル教会

一二月前半は、お二人の方  
が続けて天に召され、神様の  
支えをより一層必要と感じる  
月でした。一方で降臨日まで  
の礼拝、SS、中高生たちの  
イベントには自粛期間が明け  
てたくさんの参加者を得る喜  
びの月でもありました。ミカ  
エル幼稚園の子ども達は終業  
式前のクリスマス礼拝でペー  
ジェントによる礼拝をお献げ  
し、家族の皆様にも今年一年  
間の成長を見せることができ  
ました。三十一日は、深夜除夜  
礼拝で笹森主教からのメッ  
セージと共に新年を迎えまし  
た。二〇二四年が平和と愛の  
絆を大切にす恵み豊かな一  
年となりますように。

▽苫小牧聖ルカ教会

二〇二四年度最初の主日  
三日、松井司祭による聖餐  
式。礼拝堂と玄関にクリスマ  
スツリーが、庭にイルミネー  
ションが飾られました。一八  
日は道路がスケートリンクに  
なり、信徒が転び、脳神経外  
科に行きましたが、医者曰く  
「髪が守ってくれた」とのこ  
と。二四日クリスマス総員礼  
拝は、ルカ幼稚園のご家族も  
参加して、園長先生による絵  
本の読み聞かせもあり、礼拝  
後は久しぶりに愛餐会があり  
ました。五六名程の参加。ク  
リスマスツリーに招き猫が。

▽函館聖ヨハネ教会

函館の冬も本格的になって  
きた一二月、クリスマスイブ  
礼拝、降臨日礼拝は主教様を  
お迎えして行いました。二五  
日には久しぶりに手作りの食  
事で愛餐会を行い、信徒一同  
楽しい時を過ごしました。毎  
年恒例のキングスカレッジの  
コンサート、セントジョーン  
ズバーも大盛況で賑やかなク  
リスマスとなりました。

一二月五日テモテ高村秀昭  
さん、二二日マリヤ林和子さ  
んとの悲しい別れがありまし  
たが、藤井先生と私達と共に  
クリスマスをお過ごしもらえ  
たことを信じて主に感謝しま  
す。

▽平取聖公会

一月一六日土曜日にバチ  
ラー保育園のクリスマス会が  
開かれました。大勢の保護者  
の方がお見えになりました  
が、ホールの天井も高く、空  
調も効いているので、園児の  
ステージでの活躍も気持ちよ  
く見ることができました。

教会のクリスマス礼拝は  
二四日夜五時から献げまし  
た。礼拝後に各家庭持ち寄り  
の愛餐会が開かれ、とても美  
味しく楽しく過ごせました。  
コロナの心配が無くなったこ  
とは嬉しいことでした。

来年度の教会委員五名と教  
区総会代議員は同じ方々が選  
ばれました。新年度の信徒総  
会に向けて各担当の準備が進  
みます。

▽紋別聖マリヤ教会

穏やかに始まった紋別でし  
たが、結局はいつも通りの寒  
さと雪に見舞われました。一  
昨年は雪害による市内全域の

停電でクリスマス礼拝ができず、越山司祭も避難所で過ごすという異例な年でしたので、二四日は一昨年の分を取り戻すかの如く、主のご降誕に賛美を捧げられたように思います。幼稚園職員や他教会のゲストの参加もあり、久しぶりに賑やかな愛餐会となりました。幼稚園のクリスマス発表会は、四年ぶりに入場制限がない中で沢山の園児の家族が観覧に訪れ、子ども達もそのご家族も笑顔いっぱい素敵な発表会となりました。主に感謝。

▽有珠聖公会

二月二日、今年で九回目を迎えるクリスマスコンサートが開かれました。今回は、札幌より「ヴォーカルアンサンブルグループ INAZA(いざない)」の皆さんの合唱。約百名の聴衆を迎えました。四季の唱歌、童謡、クリスマスカロルなどを聴き、懐かしさに包まれたひと時を過ごしました。

一七日、一足早くクリスマスをお祝いしました。キャンドルの光の中で、二五名の会

衆がカロルを歌い、祈りを捧げ、礼拝後は、お茶とケーキで、パーティーを楽しみました。

▽留萌キリスト教会

二月一六日から一九日にかけて留萌を襲った暴風雪は、観測史上最大の二四時間降雪量を記録しました。この結果道路の除排雪がなかなか進まず、タクシーの営業がようやく再開されてクリスマスを迎えました。コロナ後初の祝宴には四名の信徒で四名のゲストを迎えることができました。主に感謝。

▽新冠聖フランシス教会

三一日、故射場智恵子さんの逝去記念式が行われ、ご主人と二人の息子さんがクリスマス祭壇上の遺影を見つめておられました。明るく温かい祈りの時でした。

▽新冠聖フランシス教会

二〇二三年最後の教会だよりになりました。ここ日高地方は、雪が少なくて車の運転にはとても助かります。今年も降臨節、降誕日礼拝を迎え

主と共にいてくださる事を覚え感謝です。また、新しい年の教会委員・代議員も話し合

いの内に決定致しました。

クリスマス礼拝後の愛餐会では、各々が一品料理を持ち寄り楽しい語らいの一時を過ごしました。用意されたプレゼントを頂き、集合写真に収まりました。自宅療養中の方のため主の見守りと祝福が豊かにありますようにお祈り致しました。主に感謝!

▽今金インマヌエル教会

今年も降臨節を迎え残りわずかとなりました。二月とこの間に暖かく雪が少ない日が続いています。猛暑の夏短い秋、暖かい冬。自然相手の仕事をされる方々にとって厳しい一年だったのではないのでしょうか。

▽深川聖三一教会

クリスマス礼拝、祝会ではおいしいケーキを頬張りながら会話が弾みました。素敵なお嬢さんが二人、祝会に花を添えてくれました。クリスマスといえ、藤井司祭のスモークターキー。日常のちよつとした瞬間に思い出がよみがえります。

▽深川聖三一教会

二月六日は聖ニコラス日、サンタクロースの由来の

人物にあやかってチャプレンは長いひもに保育園児のくつしたをぶらさげて、教会からの贈物をする。一七日保育園のクリスマス祝会、聖劇、おどり、歌、楽器演奏で日頃の成果を保護者に見ていただく。二〇日同所のクリスマス礼拝。パレスチナ・ガザ難民支援のために礼拝献金を日赤へ送る。感謝。二四日クリスマス礼拝、教会役員選挙、祝会、新人山岸明氏出席す。

▽網走聖ペテロ教会

教会駐車場は只今満員御礼状態なのですが、それだけに雪が多めに降りますと多少緊張いたします。除排雪は原則が、一時的に山にしておく場所を良くご存じない方が置き場所を間違えますと「停められない」とクレームが来ます。すぐに解決して良かったです。二四日のキャンドル・サービスでは幻想的な灯りのもと賛美と祈りと御言葉の時間もたれ、二五日の降誕日聖餐式では子ども達の声が賑や

かで、林義人さんが網走に戻られ、皆心から感謝していただきます。

▽北見聖ヤコブ教会

冷え込むことはありませんが雪の量は少ない北見です。二月六日葡萄のために米糠散布をしました。トイレ床下の電熱板が故障し、新しいものを購入し、床下に潜り込み設置いたしました。この日は一六日だったので、一九日にはマイナス二〇度までだったので、ぎりぎりセーフというところです。二四日には一六名が集いクリスマス礼拝と祝会が行われ、小さなサンタさんからプレゼントをいただき、画像でこの一年を振り返りました。総会は二月四日の予定です。

